8/31～9/3 鳥大生が日南町を学ぶ

「地方創生体験学習」という授業の一環として鳥取大学2回生2名が日南町を訪れました。“移住定住”をテーマに町の施策の説明を聞いたり町民さんへの聞き取りをしたりし学びを深めました。最終日には役場内で成果発表を行い、様々な意見交換がなされました。参加した学生は「今回木下家に宿泊させてもらったが、このような古民家に泊まったことがなく、とても貴重な体験ができた。また、実際に町民さんのお話を伺えたことが勉強になったし、行政的な視点を学ぶことができてよかった」と話されました。

9/4 安全に工事が終わることを願って

「日南町タウンズネット光化工事（第二期）」の安全祈願祭が霞神社で行われました。この工事は日南町内を各家庭まで光ケーブル化することによりデータを大量にかつ高速に転送できることができ、現在利用しているテレビ・インターネットなどのサービスがより便利になるための取り組みです。中村英明町長は、「デジタル社会に向けての取り組みは持続可能なまちづくりの大きな基盤の一つだと思う。141kmあまりの長い距離を皆様にお世話になるが、どうか安全第一でお願いしたい。」と挨拶がありました。

8/24 J-クレジット売買契約

「日南町有林J-クレジット」の売買契約調印式が行われました。今回契約していただいたのは有限会社大生建設（川田嗣男代表取締役）と有限会社近藤板金工作所（近藤英義代表取締役）の2社で、日南町森林組合（平田広志代表理事組合長）のJ-クレジットも購入されました。中村英明町長は「気候変動が世界的にも顕著になってきている今、こうして継続してご購入いただきありがたい。輪が広がることを期待している」と感謝を述べました。

9/3 日野郡生徒の学びの助けに

延期となっていた日野郡公設塾まなびや縁側のオープニングセレモニーが行われ、日野郡3町の町長や関係者が出席しました。まなびや縁側は日野郡部・日野高校の学生へ、ふるさと教育やキャリア教育、そして学習支援を行う公設塾です。式典では、まなびや縁側の活動内容や今後の展望の説明後、島根大学教授の作野広和先生による記念講演「日野の未来とまなびや縁側が果たす役割」が行われました。